

Prognostic role of hypertriglyceridemia in patients with stroke of atherothrombotic origin

Takao Hoshino, Kentaro Ishizuka, Sono Toi, Takafumi Mizuno, Ayako Nishimura, Sho Wako, Shuntaro Takahashi, and Kazuo Kitagawa

Neurology 2022. Online ahead of print

要旨：

脳梗塞再発予防における脂質管理の中心はスタチンによる LDL-C 降下療法であり、中性脂肪 (triglyceride: TG) についてはあまり重視されていません。しかし、高 TG 血症及びそれに伴う一連のリポ蛋白代謝異常は強いアテローム硬化惹起性を有し、新たな危険因子として最近注目されています。当科の脳梗塞患者を対象とした本研究では、高 TG 血症はアテローム血栓性脳梗塞、特に頭蓋内主幹動脈狭窄との関連が強く、脳梗塞後の血管イベント再発の独立した予測因子であることが示されました。しかも、高 TG 血症によるリスク上昇はスタチン内服により抑制されていませんでした。アテローム血栓性脳梗塞は現代の最良の治療下でもなお再発リスクの高い治療抵抗性の病態であり、今後 TG 降下療法がスタチンに追加する新たな予防戦略となることが期待されます。

